10 月のほけんだより

令和８年10月１日
おとぎ保育園
看護師　坂井
小栗

食欲の秋！芸術の秋！そしてスポーツの秋！！
スポーツといえばもうすぐ運動会です。今年は涼しい日が多いですが、練習している子どもたちは汗びっしょりです。着替えができるように予備服の補充をお願いします。元気に運動会に出るためにも、よく食べてたっぷり眠る。規則正しい生活リズムで過ごしましょう。

おとぎ先月の感染症

インフルエンザ	５名
溶連菌感染症	１名
手足口病	１名
コロナウイルス感染症	１名

小さな子どもは「見る力」も育ち盛り

赤ちゃんの目は、生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、その後、1歳までの時期は急速に「見る力」が発達します。3歳までには、多くの子どもが大人と同じ程度（視力1.0）まで見えるようになります。見る力（視覚）はゆるやかに発達し、6歳ごろには大人と同程度になります。

早く治療するほど回復しやすい！

こんなサインに注意



見る力は、目から情報を取り入れ、脳で処理することを、毎日繰り返して育ちます。ところが、目に異常があると脳に情報が届かず、見る力が育ちません。早く治療を始めるほど回復しやすいため、見え方の異常に気づいたら、早めに眼科で相談しましょう。

正面から「見る様子」をチェックして

見え方のチェックにおすすめなのが、紙しばい。左右の目の焦点、ものを見る様子が詳しくわかります。



インフルエンザの予防接種が始まりました

10月から、インフルエンザの予防接種が始まります。予防接種の特性を知って、早めに接種を受けましょう。

２回の接種が必要

小さな子どもは免疫がつきにくいため、２回の接種が必要です。効果を十分に上げるためには、１回目の接種と２回目の接種の間は４週間あけるとよいと言われています。

効果が十分に出るのは２回目接種から約２週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに２回目接種から２週間かかります。

効果は約５か月間持続する

インフルエンザの予防接種の効果は、約５か月。10月から接種すれば、流行の始まりからしっかりカバーできます。

